

御所湖了随想

H23年7月 No.25

ホタル観察会

7月9日に「ホタルが描く光のページェント」をテーマに自然観察会を行いました。盛岡市の日の入りが19:06なので、集合を19時としました。何人くらい集まるのかちょっと心配でしたが、「雫石ジャーナル」での案内記事やじゃらん net での「岩手/蛭鑑賞・ホタル狩りスポット情報 2011」での紹介もあり、集合時間には29名も集まっていました。最初にホタルに関する豆知識として、「ホタルの語源は？」、「ゲンジボタルとヘイケボタルの違い」、「幼虫は何を食べるの？」、「なぜ光るの？」などの簡単な説明を行い、明るいうちに植物園に向かいました。案内をする私も、まだ明るいうちからホタルの出現を待つという経験はありませんでしたので、どのようにホタルが光り出すのか興味津々でした。

湿度が高く、風もほとんどなく、ホタル鑑賞には絶好の条件です。ただ一つ、月が出ているのが難点でしたが…。多少気温が下がってきたのでしょうか、ヒグラシの音が聞こえます。そして、ミズバショウの大きな葉や花の終わったカキツバタの陰からカエルの鳴き声が次第に大きくなってきました。待っているせいでしょうか、ホタルはなかなか出てきません。しばらくして参加者の一人が橋のたもとで光っているようだと言いました。19:23、本日最初のホタルの輝きです。参加者の中には写真に収めたいと今か今かと出現を待っていますが、まだ多くはありません。月の明かりが邪魔をしているのかもしれませんが。しばらく目を凝らしていると、かすかなホタルの光りでしょうか、点滅しているようです。沢沿いに茂っている木々の中や、カキツバタ園の周りの草むらで、点々と光り始めました。やがて、あちこちでホタルがいたとの歓声があがります。19:42、ホタルが飛び始めました。ゲンジボタルは沢側で長い光の軌跡を描きながら、また、ヘイケボタルは反対側の草むらでちょっとせっかちに点滅しています。2種類のホタルが同時に見られます。気が付けば、数十というホタルが愛のシグナルを交わしています。ホタルを手に取り、ホタルの点滅を肌で感じ取っている人もいます。水田でもヘイケボタルが飛んでいるのを見たが、こんなに多くのホタルを見ることが出来て本当によかったという声が聞かれました。20時前後がホタル出現のピークです。この時分には総勢70名あまりの人が、ホタルを見に集まってきていました。時折橋を通過する車のヘッドライトが気にはなりますが、人工光がほとんどなく、おあつらえ向きのホタル観賞スポットだと思います。20:30、今回の観察会は無事終了となりました。なお、7月下旬まではヘイケボタルが見られます。足元に気をつけてお越しください。また、ここにはクロマドボタルという幼虫が光る種類（これは陸生ホタルです。）もおります。

今回は初めての夜の観察会でしたが、多くの方の参加がありました。来年は複数日開催を予定したいと思います。その時期になりましたらご案内いたしますので、家族や友人をお誘いの上、お越しください。残念ながら今回の観察会の様子は画像に収めることが出来ませんでした。心残り……！来年に期待してください。